



代っ子通信

令和7年8月19日

＜第24号＞

校長 平塚智康

平和集会 ～ 戦後80年目の夏 戦争や原爆、平和について考える ～

8月6日の全校登校日に平和集会を行いました。日本は世界で唯一の核被爆国であり、8月6日や9日に、戦争や核兵器について学び平和について考える機会を持つことは、日本人としてとても大切なことだと考えています。

平和集会では、まず私が、昭和の初めに起こった戦争のことや広島・長崎に落とされた原爆のことなどについてプレゼンしながら解説しました。そして、全校みんなで、「平和の子ら」（平和を希求するピースソング）を歌いました。集会の後は、各教室に戻り、運営委員会による、戦争や原爆を題材とした絵本の読み聞かせ動画を視聴しました。私のプレゼンには少し難しい内容もありましたが、暑い中にもかかわらず、子どもたちは一生懸命話を聞いてくれました。そして、集会終了後、それぞれに、戦争や平和について考えたことを綴ってくれました



＜「平和の子ら」の歌を歌う＞



＜読み聞かせ動画の視聴＞

1年 ○○ ○○

しょうがくせいなのに、じゅうをつかってくんれんしていてびっくりしました。げんしばくだんが
こわいなぁとおもいました。

1年 ○○ ○○

せんそうはひとのいのちをうばったりして、たたかったりばくだんをおとされて、いのちをおとす
のがこわいです。

1年 ○○ ○○

げんしばくだんがおちてひろしまやながさきのひとたちがかわいそうでした。

2年 〇〇 〇〇

80年前の今日は、せんそうをしていたことがわかりました。日本もちゅうごくにけんかのもととなることをして、日本もわるいことをしてしまったなと思いました。

2年 〇〇 〇〇

へいわとせんそうのちがいがわかったからよかったと思います。せんそうのことを学べてよかったと思います。ちがう町の人、知らない人、今せんそうをしている外国ともへいわに、なかよくしたいです。

3年 〇〇 〇〇

こうちょうせんせいのはなしで、むかしはせんそうがあつてたいへんでこわいこともあつたんだなとおもいました。むかしは、がっこうでもせんそうのためのくんれんがあつたとして、びっくりしました。いまはせんそうがなくてうれしいです。せんそうのときは、ごはんもだんだんたべられなくなって、かぞくとはなれることもあつたなんてきくとさみしいとおもいます。

3年 〇〇 〇〇

じっさいにせんそうはおきているから、これからは自分たちでせんそうはとてもきけんなものだということを世界中につたえていきたいです。

4年 〇〇 〇〇

校長先生のお話を聞き、わたしは自分じしんが今できることをかんがえました。まず、クラスやペアの人となかよくすることだと思いました。げんばくのひがいで、10年の月日がたっても、がんやびょうきになることもまなべました。ヒロシマやナガサキにじっさいに行つて学んでみようと思いました。あらそいは、むだなことだと思いました。わたしは自分をもっとよくしたいと思いました。

4年 〇〇 〇〇

昔の小学生は、戦う練習をさせられたり、兵器を作る工場で働かされたりしていたことが分かつて、かわいそうだなと思いました。もう二度と戦争なんて起こらないでほしいし、ロシアやウクライナの戦争もやめてほしいなと思いました。

4年 〇〇 〇〇

わたしはさだこさんの本を何回も読んだことがあるけど、とてもかわいそうだし、さだこさんとはとてもつらい思いをしたのだと分かり、わたしはぜったい大人になっても戦争はしません！世界全体が平和になり、仲良くできるようにしたいです。「平和の子ら」の歌は、とっても良い思いやねがいがこもっていて、平和へのねがいや思いが伝わります。これからも平和がつづきますように。

5年 〇〇 〇〇

戦争はつらいなあとと思いました。なぜかという、例えば幸せな家族だったのに、戦争になり、お父さんが戦争に行くと、「帰つてこれないかも・・・」「もう死んでいるかも・・・」という不安やこわい気持ちになるからです。

さだ子は、「つるを千羽おると治る」と言われ、つるをおりつづけ、「体調だいじょうぶ？」「もうやめね。」といわれてもおりつづけたのに、千羽になる前に死んでしまったのは、悲しいなあとしました。さだ子さんのお友達は、残りのつるを折ったり、さだ子のぞうを作ろうとしたり、さだ子のためにいろいろしていてすごいなあとしました。

5年 〇〇 〇〇

校長先生の話を聞いて、戦争というのはほんとうにこわいものだなと思いました。15年間の戦争でたくさんの人がなくなって、いろんな人が今も苦しんでいると思うから、もう二度と戦争をしたくないと思いました。広島では17万人以上の人、長崎では7万人以上の人なくなって、私は戦争やげんばくがどれだけこわいものかがわかりました。

5年 〇〇 〇〇

校長先生のお話や「さだ子の思い」という絵本を聞いて、私は戦争はすごく怖いもので、戦争のときなどに日本におとされた原ばくで何年も後に病気でなくなるというこわさもあると改めて知りました。さだ子の銅像には原ばくでなくなったりした人たちの思いがこめられていると思いました。これからも8月6日に平和集会など、平和や戦争などについてしっかり考えるようにしたいと思いました。また、世界が平和になったらいいなと思いました。

6年 〇〇 〇〇

原子ばくだんはとても怖いものだということが分かりました。理由は、絵本の読み聞かせで、げんばくの光をあびて10年もたっているのに死んだりお母さんのおなかの中にいてちょくせつげとかしたわけじゃないのに、死んでしまったからです。

自分は関係ないとかじゃなくて、自分たち、日本人全員で、平和な日本を作りたいです。けんかをなくしたり、争うことをやめたりすることを、呼びかけたりできるかなと思いました。

6年 〇〇 〇〇

校長先生のお話を聞いて、戦争で何百万人もの人がなくなってしまうと聞いてびっくりしました。世界で戦争をして、食料がなくなって苦しくなったりして大変だったんだなとわかりました。読み聞かせでは、原子ばくだんでなくなってしまうたり、ばくだんのえいきょうで何年後かになくなってしまふことがあるということもわかりました。もう戦争をしてはいけないと思ったし、ほかの国と仲良くなって平和になったらいいなと思いました。

6年 〇〇 〇〇

たくさんの命がうばわれた戦争が日本で起こり、しかも80年前に終わったばかりで、本当に体験してはいないけど、友達や家族などがいなくなってしまう悲しさやきょうふ、こわさに負けずに生きぬいた人たちはすごいなと思いました。戦争はもうあってはならないことなので、政治で「戦争をしたい!」とっている人に投票したりせずに、自分に出来るはんいで、戦争をおこさないようにしたいです。今日話を聞いて、今、平和に暮らせていることが良いことだと思いました。これからは1日1日を大切にしたいです。

6年 〇〇 〇〇

ぼくは、平和集会を通じて、戦争で生き残っても、さだ子さんのように時間がたって死んでしまうという不幸なこともあるんだと思い、戦争は二度とあってはならないと思いました。

なので、ぼくたちが大人になったら、このようなことにならないようにしていきたいと思いました。それに、いま、ここで元気に生きていることに感謝していきたいです。



<平和への願いを込めて>



明治・大正・昭和と、日本も世界の国々も、大きな戦争をくり返してきました。そして、現在も世界では戦争をしている国があります。持続可能な社会の創造が世界的に論議される今日、戦争を回避し平和を維持することこそ、人類にとって最も優先される課題であると思います。これからの予測困難な時代を生きぬいていかなければならない子どもたちには、戦争や核兵器がいかに悲惨でむごたらしいものなのかを知り、どんなことがあっても、戦争という選択肢を選ばない、賢い国際人に成長して欲しいと願います。